指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	高齢者生活福祉センターふれあい羽衣	評価対象年度	平成　26　年度
指定管理者名	社会福祉法人　村上岩船福祉会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年）	評価者（課長）	冨樫　孝平

①事業実績

利用実績	平成26年度当初入居者数　11名、途中入退所　入所5名、退所4名、年度末入居者数　12名
サービス向上の取り組み	定期的に趣味の助長や季節に応じた行事を計画する。

②管理経費　（単位：千円）

区分		前々年度（H24年度）	前年度（H25年度）	当該年度（H26年度）	合計	備考
収入	指定管理料	8,030	8,058	8,317	24,405	指定期間における指定管理料の総額：41,041,000円
	利用料金	2,139	2,030	1,656	5,825	
	自主事業収入					
	その他	12	1	1	14	預金利息
	計	10,181	10,089	9,974	30,244	
支出	管理経費	10,181	10,089	9,974	30,244	
	（うち人件費）	5,310	5,008	5,070	15,388	
	（うち光熱水費）	2,097	2,156	2,062	6,315	電気、ガス、上下水道料金
	（うち修繕費）	200	346	212	758	建物等修繕費
	（うち委託料）	1,911	1,791	1,819	5,521	宿直・清掃・消防設備点検等
	（うちその他）	663	788	811	2,262	福利厚生・通信費他
	自主事業費					
	計	10,181	10,089	9,974	30,244	
差引						

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
	（評価理由） 隣接する特別養護老人ホームや関係機関との連携を図り、良好に運営を行っている。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	4	3.2
		利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか			
	（評価理由） 多くの催しを実施しながら、生きがいや楽しみづくりへの努力が伺え、適宜、ボランティアの慰問や地域行事への参加により活発な活動が認められる。入居者のコミュニケーションの場づくりに努めており、集会所で過ごす時間が多くなって自室に閉じこもることもなく、生活指導員を中心として入所者同士の繋がりを作りやすくしている。また、職員の情報共有がトラブルの防止につながっている。 積極的な営業を行う施設ではないため、自主事業は行いにくい施設であるが、行事や催しを数多く開催しており、入居者に対して良好な環境を提供している。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
収支計画・実績	効果的･効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか 支出に見合う効果は得られているか 経費縮減の具体的な取り組みはされているか	10	4	8.0
	適切な会計管理･手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか 指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか	8	5	8.0
	(評価理由) 施設運営経費の削減において、職員の努力が伺える。				
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数･有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡･連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡･連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜･適切に行われ、業務の履行についても適切な監視･確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心･安全への取り組み	事件･事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則･マニュアル等)と管理･監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 入所者の健康観察や行動の把握を堅実に実施し、事故防止に努めている。 特別養護老人ホームとの連携により、効率的な運営を行っている。 職員の研修を行うなど意識向上に努めている。				
適正な業務実施	施設･設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設･設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件･事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備･備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 災害訓練や消防設備点検を頻繁に行い、防災意識が高い。浴室や居室の水回りの老朽化が目立つようになってきているが、適切な修繕を行い利用者の安全を確保している。				

④総合評価

評価点合計	83.2	評価ランク	A

⑤管理運営に対する全体的な評価

入所者の高齢化により当施設での生活が難しくなっている方が増えている中で、ご家族と相談を進め特別養護老人ホームや老人保健施設等への入所対応など適切に対応されています。利用者と施設職員の良好な関係を維持し、安心確保や楽しみづくりに努力されており、経費の縮減に努めながら良好に運営していることが認められた。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

入所者の高齢化が進み介護要素が高くなっている中で、様々な催しを実施しながら、生きがいや楽しみづくりへの努力が伺える。入所者に良好な環境を提供できるよう、今後も引き続き事業継続をお願いしたい。

記入要領

・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。

・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分

S　95.0以上

A　80.0以上95.0未満

B　60.0以上80.0未満

C　60.0未満